

目次

[概要](#)

[問題](#)

[トラブルシューティング](#)

[解決策](#)

[技術的な説明](#)

概要

この資料は Gateway GPRS Support Node (GGSN) コールデータ レコード (G CDR) がサブスクライバのための間違った請求という結果にアクセス ポイント Name (APN) の間違った設定がスタックした原因終るであるおよび充满ゲートウェイ Function (CGF) が GGSN でスタックしているさかのぼって有効にされた CDR を受け取る特定のシナリオを解説していたものです。この問題は Cisco Aggregated サービス ルータ (ASR) 5x00 シリーズで報告されます。

問題

APNs のためのさまざまな原因 (最もおそらくミスコンフィギュレーション) が理由で、CDR はデフォルト グループに行きます。デフォルト グループでは、CGF サーバをそれ故に要求スタックしている得るために設定してもらわないし。

例 :

トラブルシューティング

でサポート 詳細に出力を、確認しますコマンド 出力があるように示して下さい

アーカイブされる現在の AAA acct は新しい CDR が処理されないスタックし、流出モードの CGF に転送したことをかどれをに 6 , 000,000 CDR がすべての aaamgrs で当然示します。

制限が aaamgr ごとに達すれば、CDR は削除され、CDR の損失および顧客に収益損失という結果に終わります。

アーカイブされる 6 , 000,000 CDR から削除されるいくつかの CDR を見ます

広く使われた CDR 関連 問題をデバッグする CLI コマンドのチェックリストはここにあります。

解決策

aaaproxy プロセスのデフォルト グループに属する CDR をクリーンアップする Procedure (MOP) の方式。

ステップ 1 : アーカイブされた CDR の下の注。 gtp すべてに逆らうことを示して下さい

ステップ 2. gaggsnctx 構成コンテキスト gaggsnctx gtp グループ デフォルト gtp ストレージ

サーバモード ローカルのローカルにモードを設定して下さい

ステップ 3 非表示 モードのこのコマンドを使用して aaaproxy を止めて下さい。 **キル ファシリテイ aaaproxy にすべて任せて下さい。** (タスク キルはデフォルト グループに適用されるべきローカル モードを作ります。)

ステップ 4.非表示 モードから出て下さい

ステップ 5 チェックは **gtpm がストレージ サーバ ローカルファイル統計情報増加していることを示します。**

ステップ 6. **gtpm が 30 秒すべて毎に逆らうことを示します**実行して下さい。 これは 5 分のスパンでゼロになることを来る必要があります。

ステップ 7.遠隔にモードを戻して下さい。 **構成コンテキスト gaggsnctx gtpm グループ デフォルト gtpm ストレージ サーバ モード遠隔**

ステップ 8 アーカイブされたカウンターを (**gtpm がすべてに逆らうことを**) 増加していないチェックして下さい示し、 **gtpm がストレージ サーバ ローカルファイル統計情報増加していないことを示して下さい。**

ステップ 9.構成がそのままであり、すべてのステップに従うことを確認が確かめることができるように SSD を奪取し、私達に送返して下さい。

注 アクティビティの完了の後、HDD から CDR ファイルを取除くためにプロシージャを知っている場合。先に行ってください。 (そうでなかったら、他の日実行して下さいこのアクティビティのための TAC エンジニアを)

aaaproxy なら doesn't か。1 分以降のトリカバリは、回復手順を参照します。

aaaproxy の回復 すべきプロシージャ

技術的な説明

APNs のためのさまざまな原因 (最もおそらくミスコンフィギュレーション) が理由で、CDR はデフォルト グループに行きます。デフォルト グループでは、CGF サーバをそれ故に要求スタックしている得るために設定してもらわないし。設定される有効な gtpm グループがある APNs に関しては CDR はアーカイブするべきではありませんアーカイブ キューに行くかもしれません。

アーカイブ キューから 5 つの要求しか一度に処理なできます。5 つの要求がすべてミスコンフィギュレーションが 5 つの要求を越える APNs に属すれば決して放されなければこうしてキューの後ろのすべての CDR をブロックします。これは特定の月に生成される CDR がそこにスタックし、不正確に処理されることを意味します。

何 CDR がアーカイブすることができるか ASR5x00 に上限があります。制限が交差すればアーカイブされた CDR は削除されて得ます。これは特定の月に生成される有効な CDR のための方法を作り、それらはリリースされて得ます。

次に例を示します。

構成されたサーバーおよびないので、そして要求の他が正しい構成の有効な APN にあれば、そ

してプロセス属すればキューに 5 つの要求が時、5 つの要求が決して放されて得ない度に 5 CDR だけ一度に処理すると同時にあなたが永久にスタックしています。ただし無効な config APN に属する 4 要求があるおよび次に 1 を有効な APN はありますことを削除される要求 gets の 1 つがこれ意味すれば。この場合 5 つを要求する 4 つの要求をスタックしている処理するが、第 51 と今今処理されます。このように GGSN によって遅くリリースされるので CGF のような CGF に送信された古い CDR が 1 月プロセス DEC 月 CDR であることを、見ます。

キューをアーカイブするために正しいグループのための CDR がなぜ送信されるか: User Datagram Protocol (UDP; ユーザ データグラム プロトコル) 最大値cdrs 255 待ち時間 60 を設定したのでこの場合。システムは新しい CDR が 64K バッファ合うにすることができるかどうか確認します。ないシステムがアーカイブ キューに戻ってそれらを置けば。無効なグループのための CDR が削除されるまで 1 か月間スタックしているアーカイブ キューに戻って置かれるこの CDR。正しい設定があった場合、アーカイブ キューに決してそれらののための CDR が doesn't APNs ありませんでしたか。t にサーバがあり、CDR がアーカイブにキューを入力しても処理されようのでこの問題は決して見なかりょう。

ロジック

aaaproxy および変更 gtp ストレージ サーバ モード ローカルを止めています、従って制限が aaamgr ごとに達すればスタックしている CDR はローカル ハードディスクに押され、CDR の削除することを避けます。すべての CDR がローカル ハードディスクに書かれていて得れば、デフォルト 1 であるリモートモードに戻ることができます。